

平成24年度 予算審査特別委員会



南昭和町の旧なかよし実習所跡地

歳入

企画

Q 普通財産の売払いは何力所を予定しているのか。

A 新たに四力所を予定している。

総務

Q 町税の減収の主な理由は。

A 土地や家屋の評価替えによる固定資産税の減収による。

福祉

Q 保育所保護者負担金はなぜ増額か。

A 海田幼稚園が新たに乳児保育を開始するため。

国民健康保険

Q 一般会計から繰入れをしない方針だが、厳しい状況になると即保険税の値上げになるのでは。

A 赤字補てんは現段階では考えていないが、赤字が出たら補正予算で対応する。

介護保険

Q 国保は赤字が出たら一般会計から補てんできないのか。

A 法律で明確に禁止されているわけではないが、国・県の指導のもと、行っていない。

後期高齢者医療

Q 滞納の繰越額はいくらか。

A 平成二十二年一五〇万円、二十三年一五〇万円、合計三〇〇万円。



乳児保育を始めます（海田幼稚園）

予算審査特別委員会を議長を除く十四人で構成し、三月十二日から十四日まで開きました。工事予定箇所の現地を視察するとともに、会議室で町長をはじめ関係職員の出席を求め、平成二十四年度の各会計予算や条例の改正・廃止を慎重に審議しました。採決の結果、「ふるさと館設置及び管理条例」の廃止は否決、一般会計予算は修正可決、そのほかは、全会一致あるいは賛成多数で可決しました。委員会が担当した議案と審査の結果は、九ページに掲載しています。

歳出

企画

Q 自治会連合会への補助金の増額の理由は。
A あいさつ運動や防災事業を実施するために支援を拡充する。

総務

Q 海田町地方バス路線維持費補助金が昨年に比べて減額になっているがなぜか。
A 国と県の補助率が上がった。

Q 防犯灯新設補助金は足りるのか。
A 要望が多く出た場合は、補正予算で対応する。
Q 循環バスの利用者は何人か。
A 一日八便で一便当たり十六・三人。

福祉

Q 広域ごみ焼却場事業負担金の増額理由は。
A 二年と四年に一度行われる、機器などの定期点検が重なる年であるため、その費用が増えている。

Q 民生委員の欠員は。現在五名。欠員の地域は職員が対応し、補充に努めている。
A 現在五名。欠員の地域は職員が対応し、補充に努めている。

Q 社会福祉協議会への補助金が増になっているが。

A 人件費とスマイルフェスタへの補助が増える。
Q あんしんホットコールの実施状況は。
A 社会福祉協議会に委託しており、三十六名が登録。

Q 自殺対策事業とは。二十歳以上の男女から千人を選び、心の健康について調査し、今後の健康づくりに反映する。
A 自殺対策事業とは。二十歳以上の男女から千人を選び、心の健康について調査し、今後の健康づくりに反映する。

Q 特別保育事業補助金の内容は。
A 明光保育園で、休日保育を八時三十分から十八時まで実施する。



休日でもあずけられます

Q 英語指導補助業務費が大幅に減る理由は。
A 日本人指導員を増やし、外国人補助指導員の持ち時間を約半分にする。

Q 学校支援地域本部とは。
A 六校を対象として町内各種団体の連携を図り、学校を支援する。

公共下水道

Q 水洗便所貸付金の減額理由は。
A 借りる人が減少している。今後の借り入れの見通しは。

Q 汚水整備はほぼ完了したが、雨水整備を重点的に行うため必要である。
A 汚水整備はほぼ完了したが、雨水整備を重点的に行うため必要である。

Q ジェネリック医薬品推進により医療費の低減につながったのか。
A 平成二十年度から事業を始めている先進地の例を参考にすると、本町では四五〇万円程度の効果を見込んでいる。

介護保険

Q 介護報酬は今回の保険料改定でどれだけ改善されるのか。
A 介護従事者の給与一万五、〇〇〇円引き上げを目標としている。

国民健康保険

Q レセプト点検員は医療知識があるのか。
A 有資格者で対応。

建設

Q 住宅リフォーム補助事業とは。
A 町内業者で三〇万円以上のリフォームを行った者に対し、工事費の十パーセント(上限一〇万円)を補助する。

Q 木造住宅耐震改修補助事業は。
A 費用の四分の一(上限四〇万円)を補助。五件分を計上。



国に先がけて

Q 県道維持修繕事業で、県からの支出金以外に六三万円を上乗せする理由は。
A 美化と緑化のために特別に支出する。
Q 二十四年度の区画整理事業はどこまで進むのか。仮換地までの予定。
A 仮換地までの予定。
Q 町道の補修と水道管の入替工事箇所重複に対する調整は。
A 工事日程の調整をし、地元でできるだけ迷惑がかからないようにする。

教育

Q 学力テスト結果の公表が学校ごとにバラバラではないか。
A 県の公表基準に合わせる。



ガザニアの花が咲きます



どんどん登ってね

平成 24 年度					委員会が担当した議案と審査結果
後期高齢者医療 特別会計予算	介護保険特別会計予算	国民健康保険 特別会計予算	公共下水道事業 特別会計予算	一般会計予算の修正	
可決(賛成十一、反対二)	可決(賛成十一、反対三)	可決(全会一致)	可決(全会一致)	可決(賛成七、反対六) ※修正部分以外は全会一致で可決	可決(賛成十一、反対二)
				可決(賛成十、反対九)	可決(賛成十、反対三)
				否決(賛成四、反対九)	

※委員長と議長は、採決に加わりません。